

経営比較分析表／団体全体（令和6年度決算）

大分県 国東市

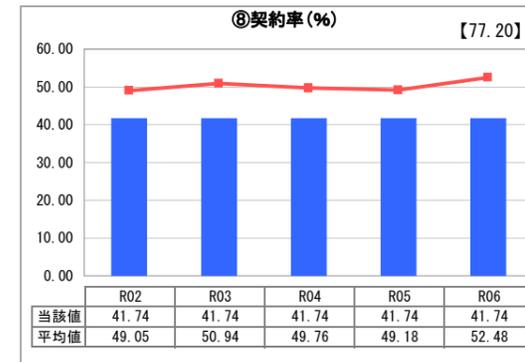
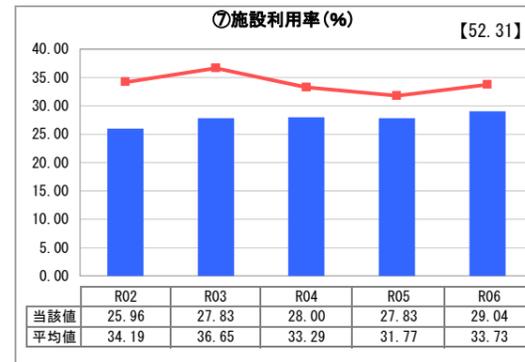
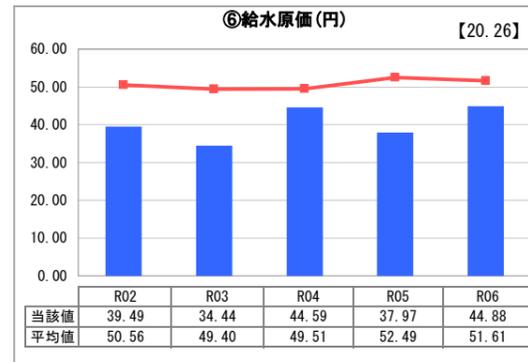
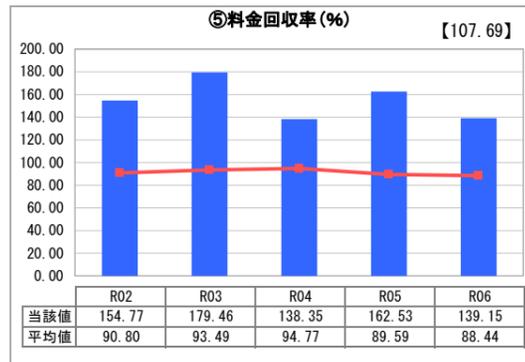
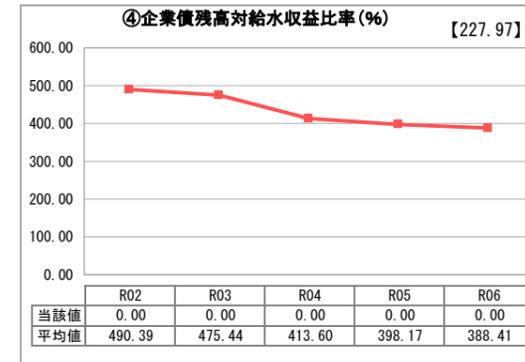
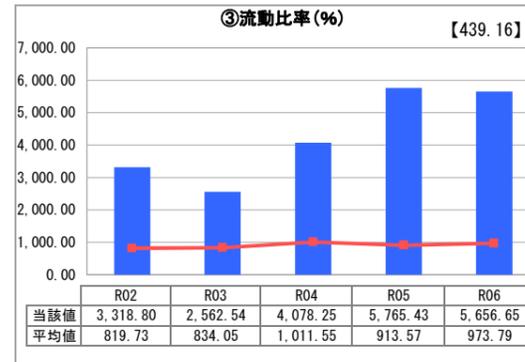
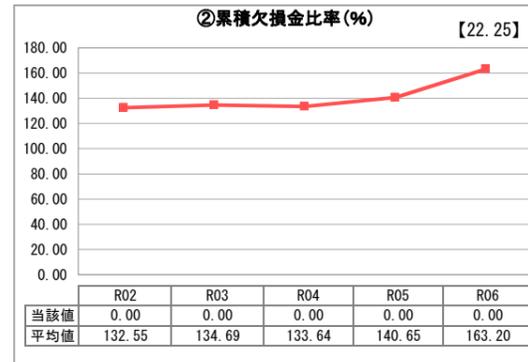
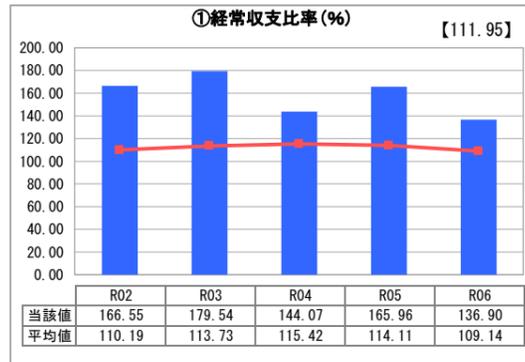
【事業概要】

業務名	業種名	現在配水能力(合計)(m ³ /日)	類似団体区分	施設数	1日平均配水量(m ³)
法適用	工業用水道事業	2,300	極小規模	2	668
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	給水先事業所数	契約水量(m ³ /日)	管理者の情報	
-	95.9	3	960	非設置	

グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- [] 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①『経常収支比率』・・・経常費用が経常収益でどの程度賄われているかを示す指標です。136%と過去同様平均値を大きく上回っていますが、今後更新工事の増加が見込まれるため減少していくと思われます。

③『流動比率』・・・流動負債に対する流動資産の割合で短期債務に対する支払い能力を表す指標です。

⑤『料金回収率』・・・給水に係る費用が、どの程度給水収益で賄えているかを示す指標です。昨年と同様に100%を上回っていることから、現状では必要な経費を給水収益で賄えているといえます。

⑥『給水原価』・・・有収水量1mあたりについて、どれだけ費用が掛かっているかを示す指標です。昨年と比べて増加しています。これは年間有収水量の減少が原因と思われます。

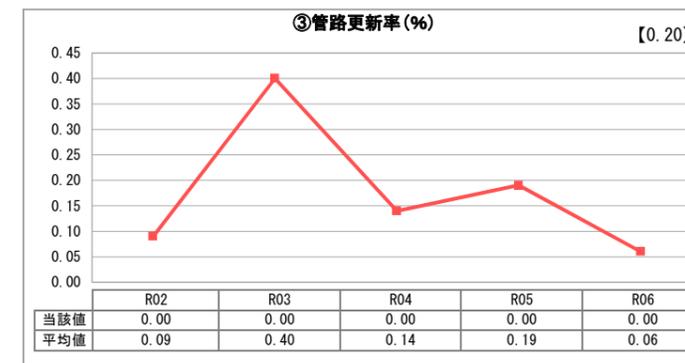
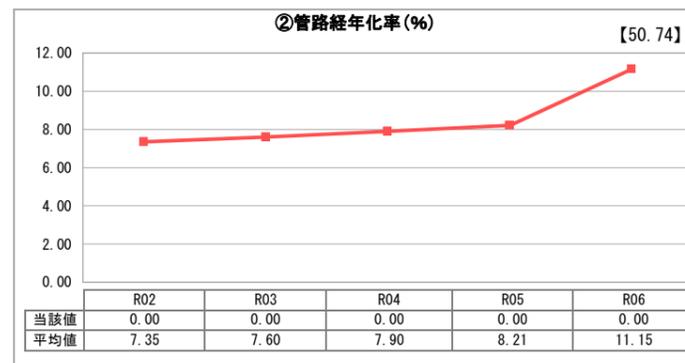
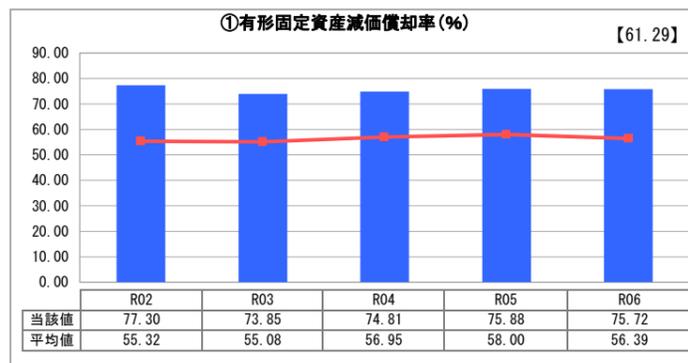
⑦『施設利用率』・・・配水能力に対する配水量の割合で、施設の利用状況を判断する指標です。令和3年度から令和6年度までは横ばいとなっています。これは受水企業の使用量に大きく変化がないことが原因と思われます。

⑧『契約率』・・・収益性及び未売水の状況を判断する指標です。1日の配水能力に対する契約水量の割合で、大きな変化はありません。

2. 老朽化の状況について

①『有形固定資産減価償却率』・・・有形固定資産のうち償却対象資産の減価償却がどの程度進んでいるかを示す指標です。平均を大きく上回っていることから、更新の時期が近づいていることがわかります。

2. 老朽化の状況



全体総括

経常収支比率、流動比率ともに参考となる数値よりも高い数値で、安定した経営が行われていると言えます。今後は施設の老朽化を示すグラフの通り管路等の資産の更新が今後近づいていることから将来の更新に備え、さらなる経営の効率化を図る必要があります。

更新工事における経費削減に努めていきたい。管路以外で計装機器類の更新も近づいてきているため計画的に更新していきたい。

適切な人員の確保はできているため研修などで人材の育成に努めたい。

料金回収率が100%を上回っていることから、現状では必要な経費を給水収益で賄えているといえます。また、料金改定も視野に入れて健全な経営に努めていきたい。